YAMAHA	PAS チャイルドシート（フロント用） 組付・取扱説明書	適応機種 PAS ラフィーニ （PZ26RM）専用

はじめに

◘お 客 様 へ

お買い上げ誠にありがとうございます。
本書には商品の正しい組付方法と注意事項について説明してあります。商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、ご不明な点は販売店にお問い合わせください。
本製品は、自転車に関する整備上の一般的な知識および技能を有する方（販売店、整備業者）が組み付けることを前提としております。それ以外の方が組み付けを行うと知識不足、技能不足のため、トラブル、機械破損などの原因となることがありますので、販売店に組み付けを依頼してください。本書は、自転車の取扱説明書および本品の取付に際して取り外した部品と一緒に保管してください。自転車を譲られるときは、この説明書もお渡しください。

◘販売店様へ

本製品の商品説明および取り扱い上の注意点を、お客様に充分ご説明いただくようお願い申し上げます。
本書および本品の取付に際して取り外した部品は、必ずお客様にお渡しください。

本書では正しい組み付け、取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠警 告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注 意	取扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要　　点	正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

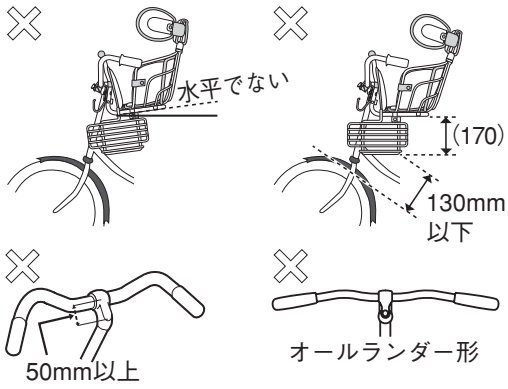
注　意　事　項

⚠警 告

自転車にサイクルチャイルドシートを組み付けてお子様を乗せることにより、自転車のハンドル操作性や走行安定性が低下します。また、制動操作時に制動距離が長くなりますのでご注意ください。

①お使いになれるお子様と組付可能自転車

- 使用適正範囲は1才以上で、体重15kg以下及び身長100cm以下です。 ただし、ヘッドガードを上げると運転者の体に接触する場合があります。
- 組付可能な自転車は、車輪サイズが24インチ以上、28インチ以下のシティ車です。また、ダイヤモンド型フレーム等、フレーム形状によっては組み付けできない場合があります。
- お子様を乗せた状態で自転車のスタンドを解除したときに、座面が水平にならない自転車には組み付けできません。
- 足乗せの内側後端から前輪までが130mm以下※になる自転車には組み付けないでください。お子様の足が前輪に巻き込まれる恐れがあり、大変危険です。
  ※SGマーク認定基準では「座面から前輪まで300mm以上は組み付けられない」ことから、300mm以下ー170mm（座面より足乗せ後端まで）=130mm以下としています。
- ハンドルポストの突き出しが50mm以上の自転車には組み付けできません。また、ハンドル形状によっては組み付けできない場合があります。
- オールランダー形ハンドルの場合、前傾姿勢になり、乗員の体がチャイルドシートに当たるため、組み付けできません。
- 強度の理由から、アルミ製ハンドルには組み付けできません。
- ロッドブレーキ仕様車には組み付けできません。



- チャイルドシートの組み付けを禁止している自転車やハンドルには使用しないでください。
- 普通の自転車に組み付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。
- 3人乗り（幼児2人同乗）自転車に組み付ける場合は、販売店に相談してください。または、自転車の表示や取扱説明書を確認し、このチャイルドシートが指定されている自転車か確認してください。
- ロック付きの両立スタンドと必ず併用してください。1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には組み付けないでください。
- 足の巻き込み防止のために、フロントガードと必ず併用してください。フロントガードのない自転車は、必ずフロントガードを組み付けてご使用ください。
- より安全にご使用いただくために、パーキングストッパー等、前輪固定機能付きの自転車を使用してください。

②組付時

より安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店に組み付けを依頼することをお勧めします。

- 組み付けの際、座面を水平にする必要があります。組付方法を参考に、水平になる場所で組み付けてください。
- ハンドルポストにカバーが付いている場合には、カバーを取り外してから組み付けてください。
- 自転車のハンドルを上下させる必要があるときは、販売店に必ず相談してください。
- 自転車の前輪錠にお子様の手足が届かないように組み付けてください。（前輪錠装備車の場合）

⚠ 警 告

③使用時

- チャイルドシート（ハンドルフック・ポストロック）が確実に組み付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。少しでも異常を感じたときは使用を中止し、販売店にご相談ください。
- ハンドルの形状やフレームの形状によっては、ハンドルを切ったときにチャイルドシートの足乗せがフレームに当たることがあります。ハンドル位置やハンドルポストの高さを販売店で調整してください。
- お子様は荷物よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- ハンドルポストは限界線以上に上げないでください。
- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。
- お子様には靴を必ず履かせて使用してください。
- お子様を乗せ降ろしするときは、お子様が足乗せに体重をかけて、よじ登らないようにしてください。足乗せに無理な力が加わり、破損する恐れがあります。また、思わぬけがをする恐れあります。
- 肩ベルト・股ベルトを必ず使用してください。
- 肩ベルト・股ベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- お子様の首に肩ベルトがかからないように注意してください。
- お子様にグリップをしっかりと握らせてください。
- お子様にはヘルメットを着用させて、使用してください。ヘルメットを着用させないで幼児座席にお子様を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける恐れがあります。また、運転者もヘルメットを着用されることをお勧めします。
- お子様を乗せるときには正しい姿勢になっていることを必ず確認し、足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。
- 足乗せにお子様を立たせないでください。不安定になります。また、足乗せが破損する恐れがあります。
- 短時間であっても、お子様を乗せたまま自転車から手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がけがをする恐れがあります。
- お子様が眠らないように注意してください。
- 普通の自転車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれ使用できるお子様の年齢、体重及び身長の範囲を守ってください。
- 走行中に、お子様が前輪錠を操作しないように充分注意してください。（前輪錠装備車の場合）
- 傘を差しながらの走行はしないでください。
- ハンドルフックなどにレジ袋などを引っ掛けないでください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。
- 使用にあたっては交通法規を守ってください。
- ヘッドレストは適正な高さに必ず調整してご使用ください。
- お子様が1人でチャイルドシートに乗り降りしないようにしてください。自転車が倒れて、お子様がけがをする恐れがあります。
- お子様を乗せ降ろしするときは、地面が平らで安定した場所に自転車を駐輪してください。
- 運転に充分慣れてから使用してください。チャイルドシートをハンドルに組み付けると、運転者の足や体に接触しやすくなるため、運転しづらくなったり自転車に乗り降りしづらくなったりする場合があり、思わぬ事故につながる恐れがあります。

組　付　方　法

1 足乗せを組み付ける

1. 足乗せの突起を本体プレート板の孔に通し、互いの孔位置を合わせます。（**図1**）

2. 本体パイプに足乗せフックを引っ掛けます。（**図1**）

3. 足乗せ板と本体プレート板の孔に、**図2**の順序でボルトを通し、ボルトとナイロンナットを締め付けて、足乗せを本体に固定します。

要　点

- 締め付けの途中で足乗せがズレないように注意してください。
- ナイロンナットは締め付けの途中で固くなりますが、最後まで締め込んでください。

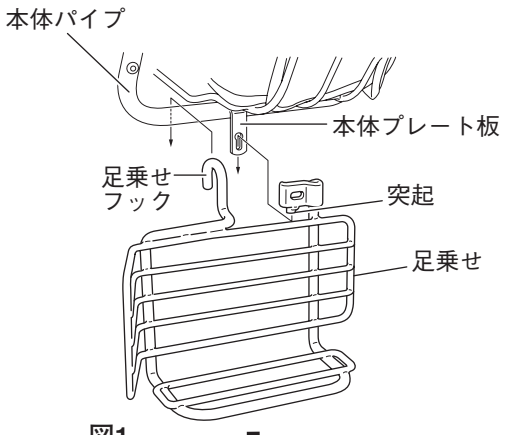


図1

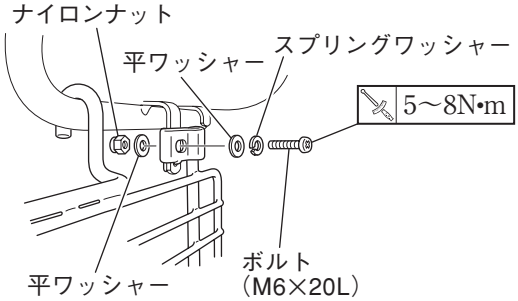


図2

2 ハンドルフックでハンドルバーに組み付ける

ハンドルフックは**図A**のように回転式となっていて、㊫·㊪の選択ができます。まず、自転車のハンドルバーにハンドルフックを引っ掛けて、下記のことを確認し、㊫·㊪の選択をしてください。
㊫を使用すると、座面が低くなります。
㊪を使用すると、座面が高くなります。
なるべく座面が低くなる、㊫をご使用ください。

要　点

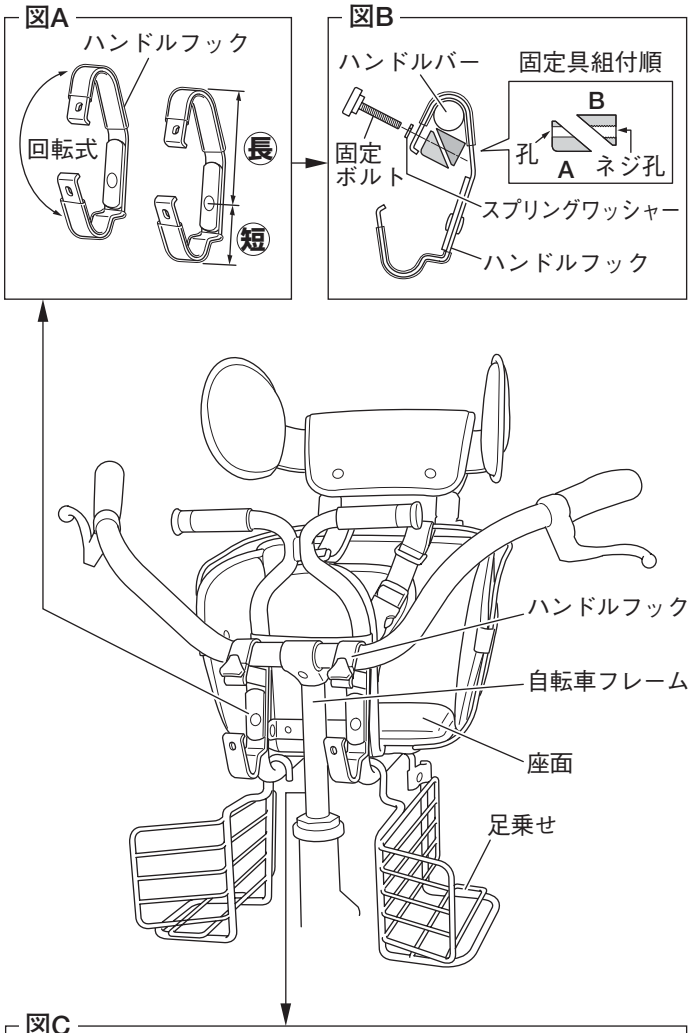
ハンドルをまっすぐにした状態から片側に60度ハンドル操作した場合に、自転車フレームに足乗せが当たるときは、㊪を使用してください。

1. 選択したハンドルフックをハンドルバーに引っ掛けて、**図B**のように固定具を装着し、固定ボルトで締め付けて固定します。

注 意

固定ボルトを固定具Bにネジ込むときは、斜めにネジ込まないように注意してください。ネジ孔が破損する恐れがあります。

2. 反対側のハンドルフックも同じように固定します。



3 ハンドルポストに固定する

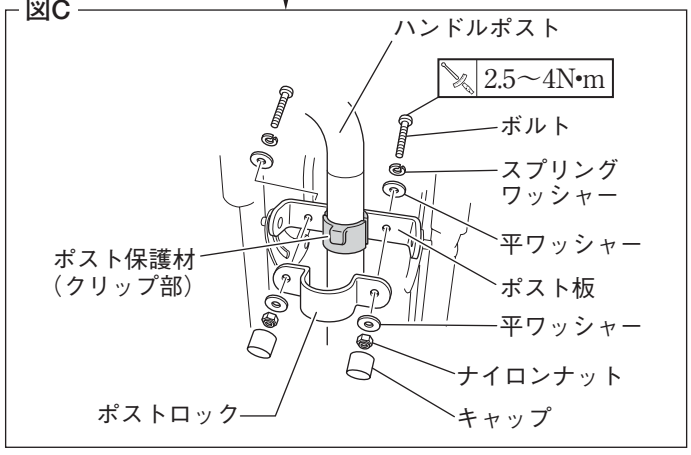
図Cを参考に次の手順で固定してください。

1. ハンドルポストのハンドルポスト板が当たる位置に、ポスト保護材を組み付けます。

2. ポストロックをポスト保護材のクリップ部に入れ、ハンドルポストを挟んでポスト板に合わせ、ネジ類で締め付けて固定します。

要　点

- ナイロンナットは締め付けの途中で固くなりますが、最後まで締め込んでください。
- 左右のネジが確実に締まっているか、最後に確認してください。
- 組み付けにくい場合は、ネジを逆方向から組み立ててください。



4 ヘッドレストを組み付ける

⚠ 警 告

- **ヘッドレストはお子様の頭を守る大切な部品ですので、以下の手順を必ず守り、確実に組み付けてください。**
- **調整ネジは、左右2ヶ所、確実に締めてください。**
- **ヘッドレストの高さ調整には上限があります。丸棒に限界位置の印（金色）があるので高くする場合は、調整ネジ上面から限界位置の印が出ないようにしてください。**
- **ヘッドレストは図3のように、適正な高さに調整してください。不適正な高さでの使用は、思わぬけがをする恐れがあります。**

1. 調整ネジを【ゆるむ】の向きに回して緩めます。

2. 調整ネジ上部の孔に丸棒を差し込みます。

3. ヘッドレストの高さをお子様の頭に合わせ、調整ネジを【しまる】の向きに回して固定します。

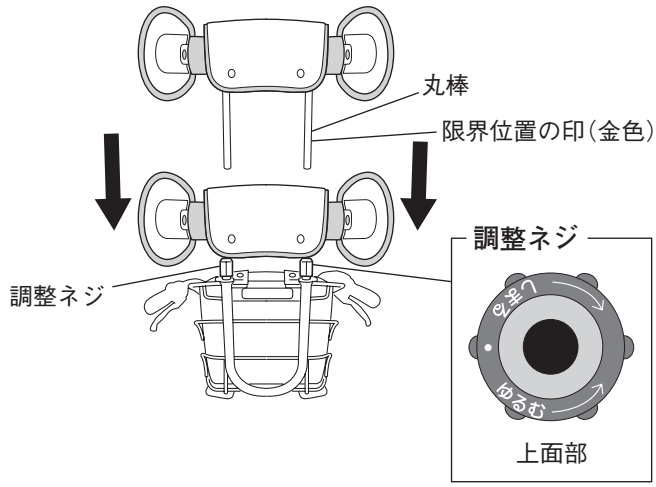
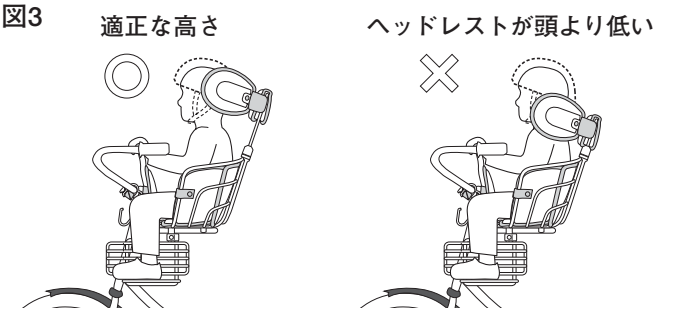


図3



注 意

調整ネジを締め付けるときに、工具等を使用しないでください。工具を使用すると締まりすぎてしまい、樹脂ナットが破損する恐れがあります。

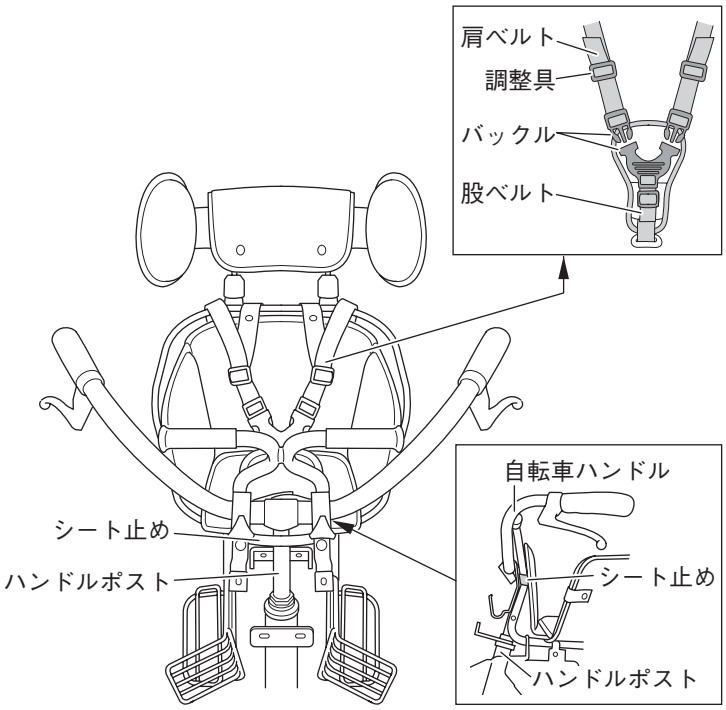
5 シート止め固定方法と肩ベルト・股ベルト使用方法

1. ハンドルポストにシート止めを巻き付けて、マジックテープで固定します。

2. お子様の股の間に股ベルトがくるように着座させます。

3. 肩ベルトは、お子様の肩から股ベルト側に回し、バックルが「カチッ」と音がするまで差し込みます。

4. 肩ベルトの長さを調整具で調節します。



お問い合わせ先

■車体本体へのご質問は下の看板のPASショップまたは下記へお問い合わせください。

ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

お客様相談室 **0120-090-819**

オープン時間:月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日等を除く）9:00～12:00　13:00～17:30
携帯電話からはフリーダイヤルをご利用できません。0538-32-1166をご利用ください。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

●商品に関するお問い合わせ
株式会社ワイズギア　0570-050814（ゴーワイズ）
オープン時間　月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日を除く）9:00～12:00 13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内通話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。
〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103番地　FAX.053-443-2187